

仙台市地域公共交通計画 ～評価指標の状況等について～

【基本方針1】バス幹線区間、バス準幹線区間、フィーダー区間を運行するバスの利用者数

【代表的な取組内容】

【八木山ラインのダイヤ調整】

- ・運行事業者: 仙台市交通局、宮城交通株式会社
- ・運行時間: 土休日を含む全日
- ・実施内容: 最大待ち時間の短縮及びパターン化された利用しやすいダイヤ設定

【休日ダイヤ】

調整前の時刻表



最大待ち時間を3分短縮

調整後の時刻表



最大待ち時間を10分短縮



【公共交通ネットワーク図】



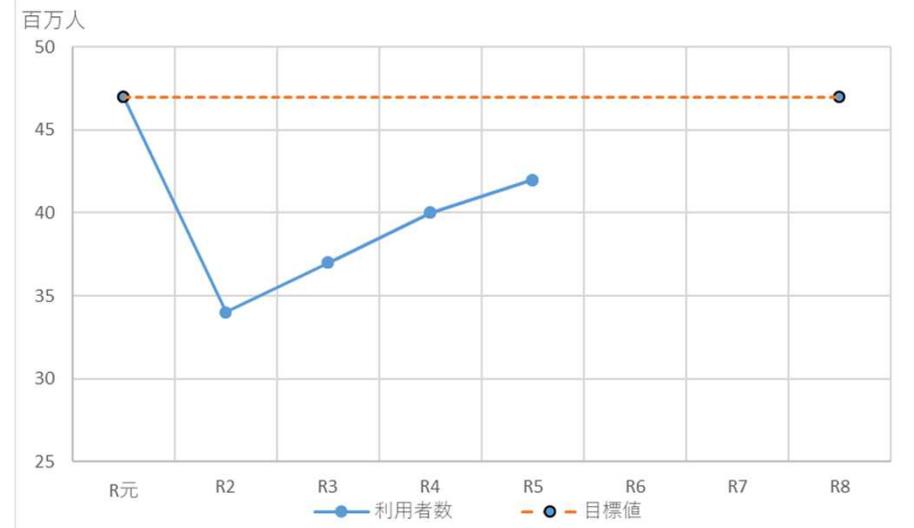
【ポケット時刻表】

- ダイヤ調整により、最大待ち時間を短縮するとともに、概ね15分間隔の運行となることで、利用しやすいダイヤとなる。
- **最大待ち時間** : [下り 33分 → 30分] **3分短縮** [上り 35分 → 25分] **10分短縮**
- **平均最大待ち時間** : [下り 21.5分 → 19.6分] **1.9分短縮** [上り 21.4分 → 18.0分] **3.4分短縮**

効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
	●	●	●			

R6年度以降の予定

- 八木山ラインの利用促進に向けた沿線住民とのコミュニケーションや周知広報の実施
- 八木山ラインの運賃等を含めたサービスの調整による利便性向上の検討
- 八木山ライン以外のバス幹線・準幹線区間への展開の検討



⑨ 公共交通の情報提供や案内誘導の改善

1) 公共交通の情報提供の改善

実施計画

【八木山ラインのダイヤ調整に併せた統合時刻表の作成】

バスが利用しやすくなる取組の実施に向けて、各交通事業者のバス停へ各事業者の時刻表をまとめた統合時刻表を掲示。

- ◆ 掲示場所: 八木山ライン対象バス停 (スペース等の都合上、掲示されないバス停有。(WEB版作成))



【統合時刻表】



八木山ライン上り: 八木山神社前バス停統合時刻表



八木山ライン下り: 仙台駅前バス停統合時刻表

効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
	●	●	●			

今後の予定

他の事業者間調整を行った区間との連携及び統合時刻表の作成

【考察】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度に一度大きく減少したがコロナ禍の収束にあわせて利用者数が回復。八木山ラインにおけるダイヤ調整や統合時刻表等の取組による利便性向上により、利用者数の増加に寄与。

令和8年度目標値に向け、引き続き地域公共交通計画に位置付けた各種取組を継続するとともに、バス事業者や関係団体等と連携し推進していく必要がある。

【基本方針3】地域交通利用者数（試験運行等を含む）

【代表的な取組内容】

④地域が主体となった移動手段の確保・充実

- 1) 地域の実情に合った移動手段の確保
- 2) 地域の移動手段確保について考える意見交換会の実施



【地域との意見交換及び地域交通の導入】

- ◆ 地域交通の導入地区数：5地区
- ◆ 地域との意見交換実施地区数：12地区（導入地区を含む累計）

▼各地区の経過

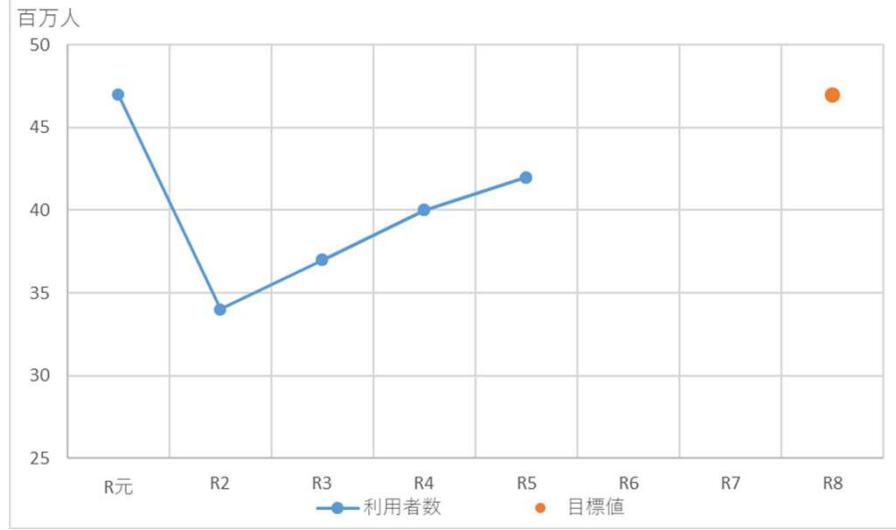
地区名	R元	R1	R2	R3	R4	R5
高戸地区	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行
押沼地区	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行
新田地区	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行
秋葉地区	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行
生田地区	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行	試験運行

● 岡田地区、鶴巻地区
 ● 岡田・鶴巻地区としてR5.4組織設立
 ● 田子・余目地区
 ● R5.4組織設立
 ● 六郷東部地区
 ● R5.4組織設立
 ● 郡山地区
 ● 郡山・八本松地区としてR5.10組織設立

凡例 ● 本格運行及び試験運行実施中
 ● 地域との意見交換実施地区

効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
R6年度以降の予定	●			●		

➢ 継続して地域との意見交換を行い地域主体の移動手段の確保に取り組み



【考察】

令和5年度の全体利用者数は、昨年度に近い利用者数で推移し、地域住民の買い物や通院等のための移動の足として継続的に市民生活を支えている。

令和6年9月に六郷東部地区、令和6年10月に田子・余目地区、岡田・鶴巻地区、令和6年11月に郡山・八本松地区の試験運行を開始しており、市全体における地域交通の利用者数の増加が見込まれる。

現在、市内9地区で地域交通が導入され、市民の持続可能な移動手段の確保に向け様々な課題が浮き彫りになってきている中、地域交通を含めた本市の方針や取り組みの進め方、対象エリア、サービスレベル等について検討が必要となっている。また、各地区とも新規利用者の発掘や乗合率の向上に向けた周知・広報等、地域交通の利用促進への取り組みの継続が重要である。

④地域が主体となった移動手段の確保・充実

- 1) 地域の実情に合った移動手段の確保
- 2) 地域の移動手段確保について考える意見交換会の実施



乗降場所

●押沼地区内のデマンド区域（高橋、越前、中北町内各）は、どこでも乗降・移動可能です。
 ●生田中学校付近は乗降場所を下記4箇所に変更します。

時刻表 平日予約時のみ運行
 ※土・日・祝日及び、お盆期間中（8/13～15）、年末年始（12/29～1/3）は運行しません。

往路（押沼地区→生田中学校付近） **復路**（生田中学校付近→押沼地区）

1便 8:15～8:45発⇒9:00着	
2便 9:15～9:45発⇒10:00着	11:00発⇒11:15～11:45着
3便	
4便 11:15～11:45発⇒12:00着	
5便	
6便	
7便	
8便	
9便	

13:30発⇒13:45～14:15着

令和5年4月～ 本格運行開始

【基本方針4】 都心における公共交通利用者数

【代表的な取組内容】

⑥公共交通を利用した都心の回遊の促進

- 1) 都心部における均一運賃制度の検討・実施 2) 均一運賃制度の更なる利用促進

取組内容

【既存均一運賃制度の継続】

- 都心バス均一運賃制度（120円バス区）の継続
- 市中心部地下鉄均一制度の継続



【仙台MaaSで120円バス区一日乗車券を試験販売】

- 令和3年10月より、120円バス区エリアが一日乗り放題になる乗車券を「仙台MaaS」限定で試験販売
- 宮城交通の都心循環バス「まちなり『チョコット』」にも乗車可能



効果を与える評価指標

【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
●	●			●	●

⑥公共交通を利用した都心の回遊の促進

- 3) 公共交通を利用した回遊のあり方検討

- ⑤旅行者等が移動しやすい環境の整備

- 1) 来訪者向け公共交通施策の実施

取組内容

【仙台都心循環線 チラシ・ポスターの作成】

都心の回遊を促進し、賑わい向上につなげるため、子育て世代をターゲットとしたチラシ及びポスターを作成。

市内全ての小学校、児童館、幼稚園、保育所及びひのびく等々にチラシ約90,000枚、ポスター約400枚の配布。

また、仙台商工会議所や仙台観光国際協会の協力により宮城交通作成のチラシも配布。



実施計画



年度	乗車人員
R5.6月	85,617
R5.7月	85,717
R5.8月	85,817
R5.9月	85,917
R5.10月	85,107
R5.11月	85,117
R5.12月	85,117
R6.1月	85,117

⑥公共交通を利用した都心の回遊の促進

- 3) 公共交通を利用した回遊のあり方検討

- ⑤旅行者等が移動しやすい環境の整備

- 1) 来訪者向け公共交通施策の実施

取組内容

【仙台都心循環線（仙台駅前～仙台駅前）の新設】

- 運営事業者：宮城交通株式会社
- 運行時間：始発9：00～最終17：40（18便/日）
- 実施内容：仙台駅を起点とした愛宕上杉通、定禅寺通、晩翠通、青葉通を周回する仙台都心循環線の運行

- 都心循環線の運行により、市民や来訪者の利便性向上＝**都心の回遊促進**
- 都心循環線と重複する他系統の将来的な**運行効率化**が見込まれる



実施計画

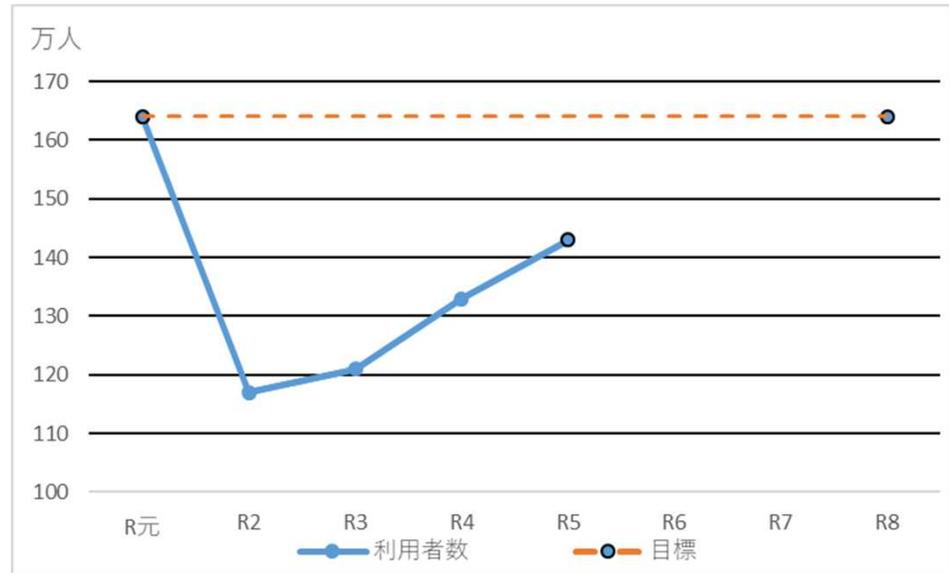


年度	乗車人員
R5.6月	85,617
R5.7月	85,717
R5.8月	85,817
R5.9月	85,917
R5.10月	85,107
R5.11月	85,117
R5.12月	85,117
R6.1月	85,117

効果を与える評価指標

【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
●	●	●		●	●

R6年度以降の予定



【考察】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度に一度大きく減少したがコロナ禍の収束にあわせて利用者数が回復。仙台都心循環線の新設やチラシ、ポスターの配布、都心バス均一運賃制度等の公共交通を利用した都心の回遊の促進などの施策により都心における公共交通利用者数（路線バス）の増加に寄与。

今後も様々な取組を継続、実施するとともに、都心内の路線バスの使われ方、ターゲットについて検証を行い、都心内の路線バスの更なる利用促進を推進していく必要がある。

【基本方針5】 せんだい市バス・地下鉄ナビアクセス件数

【代表的な取組内容】

③モビリティ・マネジメント等の推進

1) 住民モビリティ・マネジメント

【地域住民向け公共交通利用促進の実施】

▶ 地域と連携した取り組みとして、路線バス沿線地域において、地域主催のイベント等で、模型を使った公共交通利用の模擬体験や自動車と公共交通のメリット・デメリットを学ぶことができる交通すごろく等を行った。



【交通すごろく】

【イベント風景】

【?カード】

【施設カード】

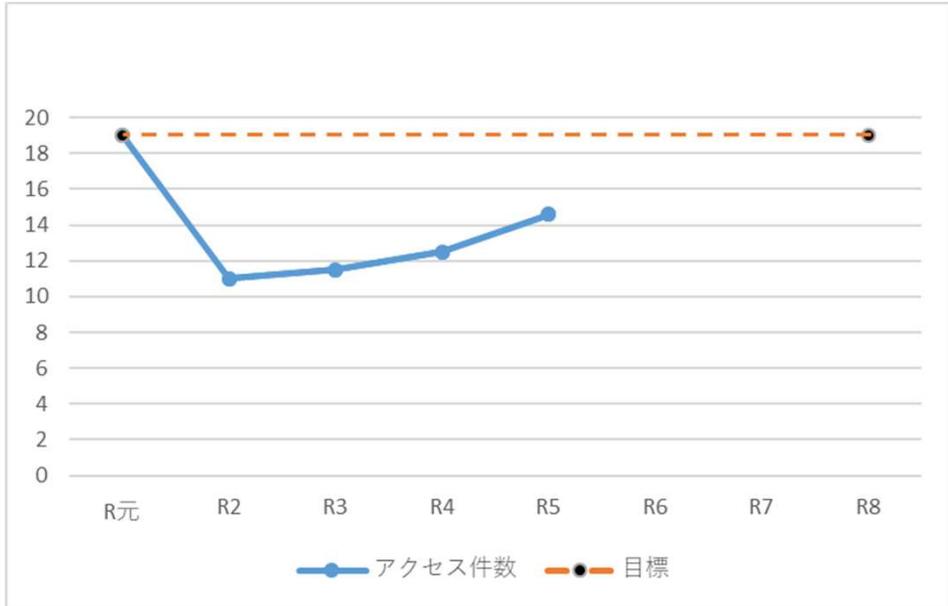
GOOD ⇒ 3マス進む	BAD ⇒ 3マスもどる
GOOD ⇒ 2マス進む	BAD ⇒ 2マスもどる

効果を与える評価指標

【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
●	●				●

R6年度以降の予定

▶ 地域住民と連携を図り、継続的な取組実施



せんだい市バス・地下鉄ナビ

バス停・駅を入力

出発地

到着地 入力

検索日時

平日・土曜 日祝

0時0分

出発時刻指定

到着時刻指定

終バス・終電指定

その他

乗換ゆっくり

バスのみで検索

時間換

検索

クリア

検索履歴から検索

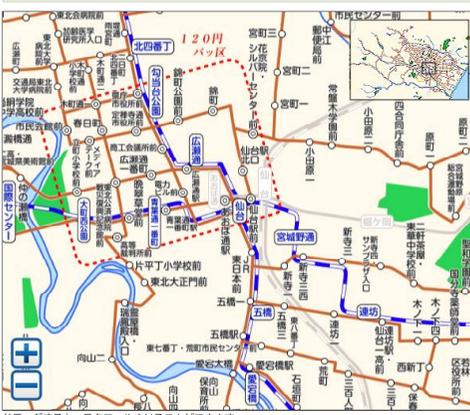
履歴

入力方法変更

50音から選択

主要施設から選択

路線図から選択



ドラッグすると、スクロールさせることができます。

「+」「-」ボタンをクリックすると、拡大縮小させることができます。

【考察】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度に一度大きく減少したがコロナ禍の収束にあわせて利用者数が回復しており、アクセス件数は利用者数と相関関係にあると考えられる。引き続き、令和8年度の目標値に向け、モビリティ・マネジメント等の取り組みにより利用者の増加を図るとともに市バス・地下鉄ナビの周知を行っていく。

【目標】公共交通利用者満足度

【代表的な取組内容】

⑥公共交通を利用した都心の回遊の促進

1) 都心部における均一運賃制度の検討・実施 2) 均一運賃制度の更なる利用促進

取組内容

【既存均一運賃制度の継続】

- 都心バス均一運賃制度（120円パッ区）の継続
- 市中心部地下鉄均一制度の継続



120円パッ区 地下鉄210円均一運賃

【仙台MaaSで120円パッ区一日乗券を試験販売】

- 令和3年10月より、120円パッ区エリアが一日乗り放題になる乗車券を「仙台MaaS」限定で試験販売
- 宮城交通の都心循環バス「まちのり『チョコット』」にも乗車可能



効果を与える評価指標

【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
●	●			●	●

⑨公共交通の情報提供や

1) 公共交通の情報提供の促進

取組内容

【八木山ラインのダイヤが利用しやすくなる時刻表をまとめた統合◆掲示場所：八木山ラインスペース等の都合上、掲示】



八木山ラインより：八木山神社前バス停統合時刻表 八木山ライン下り：仙台駅前バス停統合時刻表

【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
●	●	●			

効果を与える評価指標

今後の予定 他の事業者間調整を行った区間との連携及び統合時刻表の作成 15

③既存鉄道の機能強化

1) 仙台駅における乗り換え利便性向上策の実施

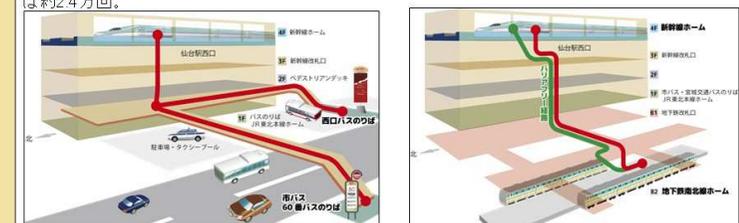
⑨公共交通の情報提供や案内誘導の改善

2) 駅等交通結節点における案内誘導の改善

取組内容

【仙台駅乗り継ぎ案内動画作成】

仙台市の玄関口である、仙台駅は、JR・地下鉄・路線バスや商業施設等が複雑に繋がっており、「移動の乗り継ぎ等が分かりづらい」との声。これまで作成してきた、初めて仙台駅をご利用される方も分かりやすい「乗り継ぎ案内動画」に新たに新幹線中央改札から仙台駅西口バス乗り場（まちのり『チョコット』、60番乗り場）へのルートや地下鉄南北線ホームへのバリアフリールートを追加。あわせて、一部の動画は外国人来訪者向け（英語版）も作成。最も再生されている動画の視聴回数は約2.4万回。

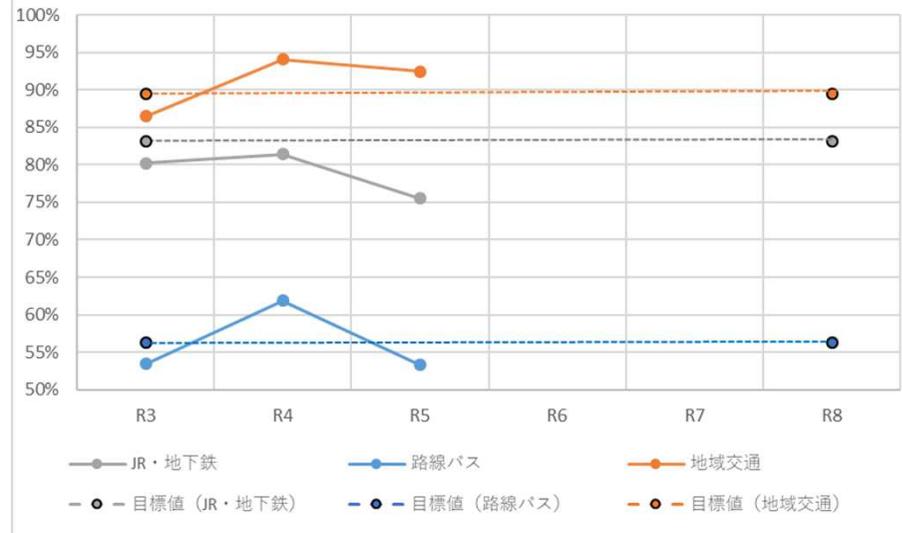


仙台駅乗り継ぎ案内動画経路（イメージ）

【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
●	●				

効果を与える評価指標

R6年度以降の予定 ▶ 継続して乗継ぎ動画を作成 5



【考察】

路線バス、鉄道、地域交通の利用者満足度は路線バスの減便や地下鉄のダイヤ改正等の影響もあり、いずれも低下しているものの平成30年度以前に実施していた公共交通に対する市民満足度調査の結果を上回る傾向にある。

具体には「鉄道は時間に正確で、乗り心地も良い」や「120円パッ区はありがたい」というご意見がある一方で「地下鉄のダイヤ改正で混むようになった」や「駅の案内図を改善してほしい」、「路線バスの便数が少ない」、「路線バスが定刻通りに来ない」とのご意見も頂いていることから、引き続き、都心バス均一運賃制度の周知広報や乗り継ぎガイド・動画作成、八木山ライン以外でのダイヤ調整によるバス待ち時間短縮する取組等を推進していく必要がある。